

寺院：茨城県第5教区第77番常春寺
 住所：茨城県石岡市三村3114

寺院の被害	<ul style="list-style-type: none"> 地震により、本堂、その他の建物が半壊、庫裡が一部損壊した。 境内の土木構造物にも被害が生じている。
寺院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 震災前三世代で生活していたが、震災後は親世代のみが寺院で生活している。 檀信徒の離散、経済的問題を心配している。 放射能汚染の影響があり、寺院所在地の放射線量は高い。 本堂のしっくい壁は未だにベニヤ板で穴を塞いだ状態のままである。 本堂屋根は大雨時には雨漏りがひどく。ブルーシートで凌いでいる。
檀信徒の現状	<ul style="list-style-type: none"> 檀信徒の95%が農家であり放射能汚染の影響による収入の不安を抱えている。
地域の現状	<ul style="list-style-type: none"> 放射能汚染による食物や農作物に影響が出ている。
復興の状況	<ul style="list-style-type: none"> 今なお続く余震や、地震のたびに造成した土地が沈下し続けていること、復旧には膨大な費用がかかることなどから復旧の目途は立っていない。 復旧に際して檀信徒からの寄付は望めない。

(H25.11.13現在)



本堂の漆喰壁は、内外ともベニヤ板で穴を塞ぎ、一時的に凌いでいるが、復旧には至らないままである。石燈籠は、全て倒壊したが震災が起きた年のお盆に間に合うよう入口は全て復旧させた。しかし、裏の池に沈んだ石燈籠までは手が回っていない。

(撮影H25.10.27、H25.10.31)